



器 23 聴力検査用器具
一般医療機器 音叉 (JMDN コード 32526000)

音叉

【形状・構造及び原理等】

<形状>

本品はU字型をしており、振動の周波数の違いにより両脚の長さや太さの違いがある。

また、両脚の先端にバランスウエイトが付いたものもある。



音叉ハルトマン氏 c³1024Hz



音叉ルーツェ氏 c128Hz
(バランスウエイト付き)

<原材料>

- ・ 鋼またはアルミ(本体)
- ・ 黄銅(バランスウエイト)
- ・ 樹脂(座)

種類	振動数	製品名
ハルトマン氏	128Hz	音叉ハルトマン氏 c 128Hz
	256Hz	音叉ハルトマン氏 c ¹ 256Hz
	512Hz	音叉ハルトマン氏 c ² 512Hz
	1024Hz	音叉ハルトマン氏 c ³ 1024Hz
	2048Hz	音叉ハルトマン氏 c ⁴ 2048Hz
	4096Hz	音叉ハルトマン氏 c ⁵ 4096Hz
ルー ツ ェ 氏 調節子付 (変動式)	128/144/160/ 170.7/192/213.3/ 240Hz	音叉ルーツェ氏 c128Hz 調節子付
ルー ツ ェ 氏	2896Hz	音叉ルーツェ氏 fis ⁴ 2896Hz
A 九大型	108.75Hz	音叉 A 九大型 108.75Hz
労基法準拠	1000Hz	音叉 1000Hz 労基法準拠
	4000Hz	音叉 4000Hz 労基法準拠
その他	32Hz	音叉 C ₁ 32Hz
	64Hz	振動覚検査用音叉 C 64Hz
	128Hz	振動覚検査用音叉 c 128Hz
	128Hz	音叉 c 128Hz 脳外科用

【使用目的又は効果】

"U"字型器具で、"U"の底部にハンドルをもつものをいう。"U"の垂直の部分は、硬質のもの(通常ゴム)に打ちつけた場合に特定の波長の音を発する長さで切断されている。主に聴力検査に用いる。

【使用方法】

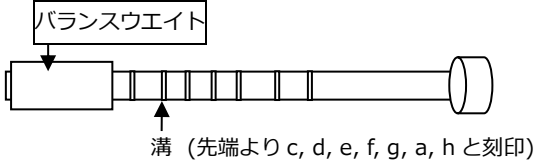
<一般的な使用方法>

- 音叉をゴム製の打診器等で叩き、患者の耳元に近付け、音が聴こえたら手を挙げて合図をしてもらう。
- ・ 音叉を傷つけないように、打診器等で叩いて下さい。
 - ・ 叩く位置は、音叉の平面ではなく角の方が純音を発振します。

<振動周波数の変更>

ルーツェ氏(調節子付)のみバランスウエイトが変動式(調節子)となっており、先端より7つある溝に合わせてバランスウエイトを移動させ、発生させたい周波数の位置に変更する。

(c 128/d 144/e 160/f 170.7/g 192/a 213.3/h 240Hz)



【使用上の注意】

- ・ 使用前に、汚れ、傷、曲がり等の異常がないか点検すること。
- ・ ルーツェ氏(調節子付)はその構造上、特に高周波数側で音が持続しにくいため注意すること。
- ・ ヤスリにより最終調音を実施するため、U字の又部分(もしくは先端)に加工跡が残っている場合があります。
- ・ 音叉は 20℃の環境下で表記の周波数を発振するよう調音している。正確な検査のために 20℃±5℃の環境下での使用を推奨する。

【保管方法及び有効期間等】

- ・ 使用後は、汚れなどを乾いた布で拭きとって、乾燥した場所に保管してください。
- ・ 長期保管の場合は、防錆のため白色ワセリンを塗布して下さい。

【保守・点検に係る事項】

- ・ 汚れ、大きな傷、曲がり等の異常がないか目視で点検する。
- ・ 汚れはアルコール等を使用せず、乾いた布で拭き取る。
- ・ 金属ウールやヤスリ等で磨かないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社ニチオン
千葉県船橋市栄町 2-12-4 TEL: 047-431-1871